

NEWS RELEASE

2019年6月28日 東ソー株式会社

血中異常細胞の解析受託事業をスタート ~がん転移に関わる研究の進展に貢献~

東ソーは、血中に存在する異常細胞を検出し、がん関連遺伝子の変異を解析する技術を確立し、解析結果の研究活用を目的(*)とする研究機関や製薬企業向けの細胞解析受託事業を6月から株式会社東ソー分析センター(本社:山口県周南市)において開始しました。

当社は、本解析受託事業において次のバイオ関連技術を確立しました。

- ①血液検体を安定的に保存する技術(搬送中に血液検体が劣化することを防止)
- ②血中細胞の大多数を占める赤血球と白血球を分離する技術
- ③誘電泳動を利用して微細加工チップ上に細胞を整列・固定する技術
- ④抗CD45抗体、抗CK(サイトケラチン)抗体及びDAPI(核染色試薬)を 用いて異常細胞を検出する技術
- ⑤細胞の大きさ等を判定しCK陰性細胞からCK陰性異常細胞を検出する画像技術 これらの解析技術を用いた、ヒト肺腺がん細胞株を添加したモデル検体による解析試験で は、添加がん細胞の80%以上を異常細胞として検出しました。また、がん関連遺伝子の変 異解析では、市販の遺伝子解析パネルを活用し、回収した異常細胞について50種類のがん 関連遺伝子の変異の有無が解析可能です。

さらに今回の解析受託事業では、CK陽性異常細胞に加え、CK陰性異常細胞も検出可能であり、CK陽性/陰性異常細胞数とがん転移の関連といった研究の進展に貢献するものと考えています。

当社では、多様な細胞や分子を分離・検出する技術の確立を進めており、技術検証が終了でき次第、研究機関や製薬企業向けの細胞等解析受託事業を順次展開していきます。また、特定疾患の検出に有用なマーカー分子の探索や非侵襲、低侵襲性の検出技術の研究開発を加速し、診断・ヘルスケア分野での応用展開を通して人々の健康的な生活の実現に貢献していきます。

【受託分析項目】

- ①血中CK陽性/CK陰性異常細胞数の計数(細胞数/mL血液)
- ②がん関連遺伝子変異解析(50種類のがん遺伝子及びがん抑制遺伝子の変異解析)
- (*)解析結果を人や動物の医療または診断の目的に使用することはできません。

東ソー株式会社 広報室



NEWS RELEASE

【東ソー分析センターの会社概要】

1. 設 立 1999年10月

2. 事業内容 各種化学物質・環境関連などの分析・検査業務

3. 出資比率 東ソー100%

4. 営業問い合わせ先

(株)東ソー分析センター 営業部 バイオグループ

電話:0467-77-3156 Fax:0467-77-7135

E-mail: bioresearch@tosoh-arc.co.jp

以上